

日常の中で育む道徳性

道徳教育推進教師 高島 綾子

「先生、ヤモリ見付けた!教室で飼いたい、飼っていいでしょう。」ある日、出張から帰ってきた私に、子供たちが見せてくれたのは小さなヤモリでした。自分自身もトカゲが好きなのもあり、可愛さに飼いたいなと思ったところもありますが、一つ疑問が。「エサはどうするの?」すると、「毎日とってくる。」と言います。しかし、その後の話合いで「毎日とるのは難しいんじゃない。」「エサになる虫も私たちに捕まえられてかわいそうだ。」「こんな狭いところで過ごすなんてかわいそうだよ。」「家族と離れ離れになって寂しいかもしれない。」など議論する姿が見られ、最終的には放課後まで教室で観察をし、夕方元の場所に返すこととなりました。放課後、みんなで「元気でな。また会いに来いよ。」と手を振り見送る姿を見て、本当に優しい子供たちだなと心を打たれました。また、この一件から感じさせられたのは、子供たちの中にしっかりと「自然愛護」「生命の尊さ」の道徳的価値が育っているということ、自分たちの立場だけでなく、ヤモリの立場に立って考え意見を議論し、よりよい解決方法を見だし実践に移すことができる力をもっているということです。飼いたいという気持ちがある友達の思いも理解した上で、最終的にはヤモリの命、生活を大切にすることを結論に至ったことは、子供たちにとって大きな学びであったと思います。



道徳教育は道徳科の学習を要として、教育活動全体を通じて行うことが大変重要です。そして物事を多面的・多角的に見つめ考え、道徳性を養うことが求められています。これからも子供たちの日常生活の中で、道徳的価値について考え、高めていくことができるよう、私たち大人がアンテナを張り学習の機会を見つけていきたいと思っています。



みんなの思いが詰まったハイネットが完成!

長い間、使用できなかったハイネットの工事が15日~19日に行われ、ようやく工事が終了しました。高さを補修し、ジャングルジム側にもネットが付けられ、青と白のコントラストが美しいハイネットに仕上がりました。子供たちが大好きなハイネットは、PTAや地域の方々の思いもたくさんつまっていると聞いています。今後、全校児童で完成式を行う予定です。大休憩や昼休みには、新しくなったハイネットで楽しそうに遊ぶ子供たちの姿が目につかびます。これからも安全に気を付けて大切に使用していきたいと思っています。



関係の皆様、ありがとうございました。

